



地域で取り組む継承活動

伝統を受け継ぐ子どもたち



芭蕉踊を披露する地元の子どもたち

保存会の方の指導を受け、この日に向けて練習を重ねてきた小学生たちは、祭礼に訪れた多くの人の前で見事な踊りを披露しました。

毎年恒例の「円城寺の芭蕉踊」が8月22日、円城寺の秋葉神社の祭礼に奉納されました。

この芭蕉踊は、江戸時代から伝わる「雨乞いの踊り」として、円城寺の方によって、受け継がれています。

平成元年に岐阜県重要無形民俗文化財の指定を受け、現在は円城寺芭蕉踊保存会が中心となり、継承活動に努めています。踊り手は、地元の小学生たち。背丈以上の長く重い芭蕉を背負い、歌と横笛にあわせて、鉦や太鼓を打ちながら踊ります。

岐阜連携都市圏を知ろう！

①岐阜市



市内中心部に清流・長良川が流れ、金華山がそびえる自然豊かな岐阜市。約41万人が生活する県都として、行政機関や病院、文化施設などの都市機能が集積しています。明治22年に岐阜市制を施行して以来、産業・観光都市として成長。平成8年には県内唯一の中核市となり、平成18年には羽島郡柳津町と合併しました。

市勢データ(平成30年4月1日現在)

■人口 410,297人 ■世帯数 178,392世帯 ■面積 203.6km²

1,300年以上の伝統を誇る「ぎふ長良川鵜飼」や国史跡「岐阜城跡」など、歴史のまちとしても知られる岐阜市。岐阜市を代表する夏の風物詩「ぎふ長良川鵜飼」は、毎年5月11日から10月15日まで開催しています。暗闇の中、篝火に照らし出される鵜匠の手縄さばきと、川へ潜って鮎を捕る鵜の姿は、幻想的な世界へと皆さんを誘います。織田信長公が天下統一の拠点とした「岐阜城」で歴史ロマンを堪能し、川原町界隈、長良川温泉などの情緒あふれる町並み散策を楽しみ、「ぎふ長良川鵜飼」で幽玄の世界を体感してみませんか。“織田信長公ゆかりのまち・岐阜市”にぜひ遊びに来てください。



ぎふ長良川鵜飼
マスコット
キャラクター
うーたん

5月11日(金)～ 10月15日(月)	ぎふ長良川鵜飼 1,300年以上続く伝統漁法。漆黒の闇の中、繰り広げられる伝統の技が、幻想的な世界へと誘います。(長良川)	
10月6日(土)・7日(日)	第62回ぎふ信長まつり 市街地は歩行者天国となり、一般公募で選ばれた人々が戦国武将や姫に扮してパレードを行います。(岐阜市中心市街地)	
12月22日(土)	こよみのよぶね 岐阜市出身のアーティスト・日比野克彦さんが監修する冬の風物詩。市民の皆さんが制作した巨大な数字の行灯を屋形船に乗せて長良川へ流します。(長良川右岸プロムナード一帯)	

【問 合 先】岐阜市役所広報広聴課 ☎214-2387／笠松町役場企画課 ☎388-1113

岐阜連携都市圏とは？ 将来の人口減少に伴う税収減や社会保障費の増大を見越し、地域の中心都市(岐阜市)と近隣市町(山県市・瑞穂市・本巣市・岐南町・笠松町・北方町)が連携して社会経済の維持・発展を図るものです。今月より連携市町の紹介コーナーを連載していきます。各市町イチオシのイベント情報も掲載しますので、ぜひお出かけください。